



国際リニアコライダーがやってくる!?

第19話 「ケロ平、ノーベル賞を知る」



2015年のノーベル賞が決まったね。物理学での受賞だ。

2013岩手県ケロ平 designed by センウエンルー

職員…日本の物理学研究者のレベルの高さを物語る結果です。その中でも2015年の受賞は、素粒子物理学だよ。

ケロ平…素粒子物理学って I L C で主に研究される学問だよな？

職員…そう。今回の受賞理由は、ニュートリノっていう粒子に重さがあることを発見したこと。宇宙の解明につながるかも？

ケロ平…早く I L C ができて、そういう研究を岩手で行って欲しいなあ～。

先々月に会った平泉中学校の生徒が、I L C を使って宇宙の謎を解明するかもしれないよ？
そうになったら、平泉町からノーベル賞学者の誕生だ！



(つづく)

平泉を掘る

平泉遺跡群調査事務所では昨年度から、柳之御所遺跡の関連調査として高館跡の周辺部で調査を行っています。本年度の調査では現在の義経堂の下方で、幅6～7m、深さ2mほどの大規模な堀跡が確認できました。昨年度、柳之御所遺跡に下りる丘陵東側の斜面で確認できた堀跡と同規模で、遺物の様相から同時期の12世紀代の遺構と捉えられます。位置はやや離れていますが、同一の堀もしくは密接な関連をもつと考えられます。このことにより高館の丘陵上部の平坦な範囲が、奥州藤原氏の時代に大規模な堀で囲まれていたことがわかり、堀が大規模なことからその内部が重要な施設であったことも推察できます。

これまで高館跡の周辺では堀跡の存在が指摘されてきましたが、これらの発掘調査によりその規模や位置が明らかになってきました。具体的な内容は今後の

発掘最前線 ①④⑩

— 柳之御所遺跡の関連調査 —

検討課題となりますが、政庁である柳之御所遺跡を望む高館の丘陵上部に、奥州藤原氏が繁栄を築いた12世紀代に何らかの施設が所在し、活用されていたことを示す重要な成果です。



高館跡の堀跡

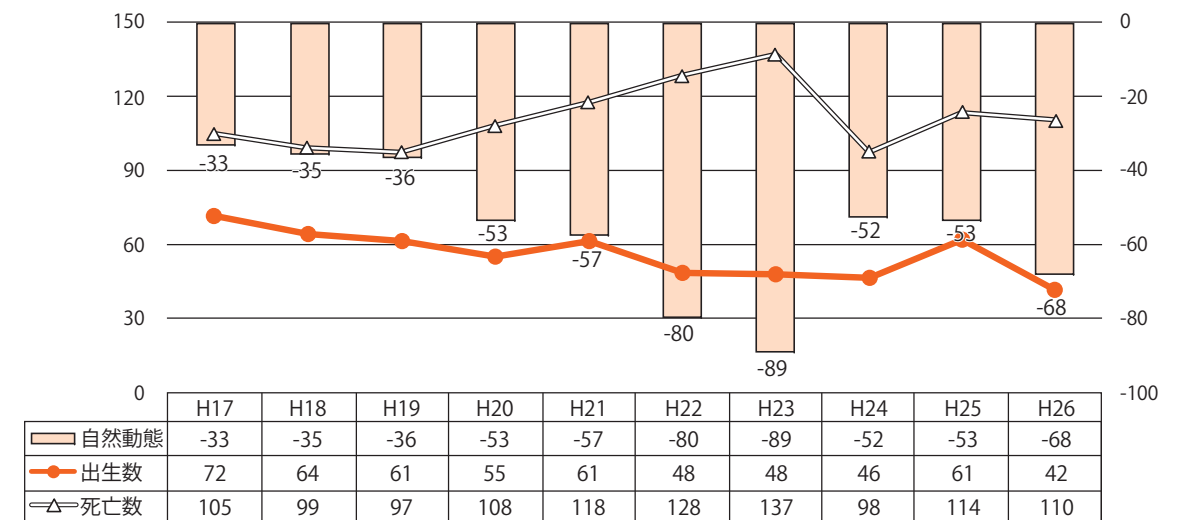
人口ビジョン① 「町の現況を知ろう！」

■問い合わせ先…総務企画課 ☎46-5578

国では、2008年の1億2,800万人をピークに、2060年には8,600万人まで人口が減ると試算しています。人口減少は、さまざまな方面に影響が出るため、2060年には1億人の人口を維持する計画を国は立てました。それが人口ビジョンです。それを受けて町では、町人口ビジョンと、それを実現するための今後5年間の施策を明記した総合戦略を策定しています。

今月号については、「出生率と死亡数」・「転入数と転出数」における町の現状をお伝えします。

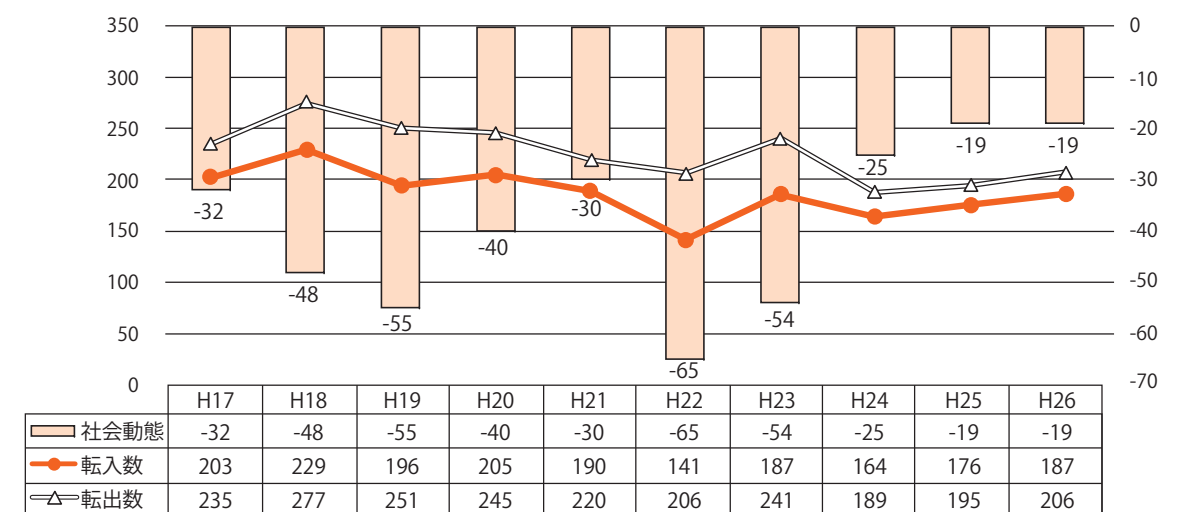
①出生数と死亡数の推移(自然動態)



住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査より

一貫して死亡数が出生数を上回り、自然減少傾向にある

②転入者数・転出者数の推移(社会動態)



住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査より

一貫して転出数が転入数を上回り、社会減少傾向にある